

R.I.District 2670 高松南ロータリークラブ

2018年11月



Monthly Report

ホームページ <http://www.takamatsu-south-rc.com/>

2018-2019

インスピレーションになろう

RI会長：バリー・ラシン 会長：篠田日出海 幹事：多田耕三
 例会場／JRホテルクレメント高松3階「玉藻の間」 毎週水曜日 12:30～13:30

インスピレーションに
なるう

例会

2018-19年度 9月26日 第12回

日時／平成30年9月26日(水)12:30～
 場所／JRホテルクレメント高松 21Fシエロ

会長挨拶 会長 篠田日出海

先日の23日・日曜日が秋分の日、すなわち彼岸の中日で今日26日が彼岸明けです。慣用句で「暑さ寒さも彼岸まで」と有りま

すように、この2～3日残暑も和らぎ凌ぎやすくなってきました。秋の彼岸は、概ね5月下旬～6月上旬の気温とはほぼ同じ気温との事です。これから段々と寒く成って行くと言っても北海道・東北に比べたら大した事が無いのですが、冬至そして来年の3月下旬に春の彼岸・春分を迎え、夏至の後に、あの暑い暑い夏に突入するのを繰り返しています。この日本の1年の気候サイクルが「四季」ですが、それぞれに食生活やレジャー、ファッション、それに産業や農業も季節に対応して日本の豊かな社会を形作っています。

一昨年滞在していた南米のガイアナ国は、ほぼ赤道の直下で一年中気温30℃～36℃の真夏。30年前に滞在していた中国とシベリアの国境地帯は、11月～3月は零下の気温。-20℃～-30℃の中で仕事をしたことがありますが、赤道直下でもシベリア国境も四季の変化が無いのは、生活に張りがなかったのを思い出して、日本の四季に感じ入っています。

夏の間に「暑い暑い」と天に愚痴を言っていました、その後には凌ぎやすい時が巡って来る日本の自然を楽しみましょう。

先程の「暑さ寒さも彼岸までは」という意味を転じて、「辛いこともいづれ時期が来れば去っていく」という意味の諺として用いられることもあるとのこと。私の会長職の「暑さ寒さも…」は来年の6月末の時期が来れば去ると、就任3ヵ月を経過して、カウントダウンには未だ長い道のりですが、楽しい例会・意義あるロータリー活動を推進していく所存です。

幹事報告

- 9/23 「一日会」の報告（中村耕太郎会員）
- 10/12 例会変更 鎌倉芳太郎生誕120周年顕彰例会
新会員歓迎会
栗林公園内 栗林カフェ 18:30～
- 10/26～28 地区大会参加及び本登録のお願い
- 10/28 高松クリンデー（サンポート高松 8:00～）
参加申し込み締め切り 9/28
- 11/23 香川県RC親睦ゴルフ大会（鮎滝CC）
参加申し込み締め切り 10/10
定例役員会の議事録をキャビネットに入れています。

委員会報告

出席委員会（秋山委員長）

10月は100%出席例会月間です。ご協力お願いいたします。

スペイン世界マスターズ(陸上)で400mM55に参加しました。
 社会奉仕委員会（宮本副委員長）

早明浦ダム下草刈り

天候により中止になれば連絡いたします。

親睦委員会（中村耕太郎会員）

一日会の報告 田辺はまゆうRC山本様が優勝

客話

西明寺 花苑翠玉師



「慈光照護」

会場の凜とした空気と共に暖かさ、ぬくもりを感じた南ロータリークラブの例会、お題の「人生の問いかけ」久遠の昔より長い長いご縁があり今ここにある私達の「今日のいのち」に私自身の気づきの場として客話をさせていただき御礼申し上げます。仏教ではこの世のすべての事は全部つながっていて一つ独立しているものはなく単体としては存在しないといえます（諸法無我）。その中に人間も含まれています。無始より数かぎりない縁が整い得難くして人間に生まれたいだいのちです。いのちは自分ひとりで生きているのではなく多くのいのちやものとのつながりで生かされて生きています。その事に目覚め「自分がいて周りの人々がいる」のではなく「周りの人々がいいて自分がいる」と仏教では教えていただいています。

南ロータリークラブの皆様とお出合いをさせていただき有り難くも客話のご縁まで頂戴致しました。重ねて心より感謝申し上げます。合掌。翠玉拝

ニコニコ箱

花苑翠玉様

堀(祥)会員「結婚記念の花ありがとうございました。お先に失礼します。」

熊田会員「誕生祝ありがとうございました。」

向井会員「田辺ロータリーとの親睦コンペのゴルフ取次戦で優勝カップいただきました。」

長町会員「お先に失礼します。」

計¥14,000 合計¥154,000

会員掲示板

●メークアップ

大橋会員、岡(隆)会員、中村(耕)会員、田中(理)会員、田村会員、林(幸)会員、堀(祥)会員、白井会員、岡(住)会員、今城会員、中村(敬)会員、森(恒)会員、宮本会員、森(敬)会員、豊田PDG、宮本会員、前田会員

●ビジター

松村さま（高松RC）

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
ソングリーダー 堀(一)会員

2018-19年度 10月3日 第13回

日時／平成30年10月3日(水) 12:30～

場所／JRホテルクレメント高松

例 会

会長挨拶

会 長 篠田日出海



先週末は台風襲来で早明浦ダム下草刈りの奉仕活動が中止になりました。また今週末にも次の台風26号が来るようです。単身赴任者が金曜に帰ってきて月曜に行く“金帰月来”のように台風や大雨が、7月以来週末に続いています。これら自然現象への対応準備で、被害を回避できるように願っております。

さて、今月はロータリーの「経済と地域社会の発展月間」と「米山奨学月間」です。先日9月29日に香川第Ⅰ・第Ⅱ分区米山協議会があり出席しました。我が高松南RCは米山寄付累計額ではRI2670地区のトップを維持しています。会員皆様方に改めてお礼申し上げます。

また、今日は、今月の「経済と地域社会の発展月間」に相応しい「まちづくり 企業づくり MBAで学ぼう」と言う演題で香川大学の中村先生から客話を戴くことに成っています。我々ロータリアンの企業は地元のコミュニティと共生していますので、この“まちづくり”、“企業づくり”を通じて経済・地域社会の発展に貢献できたいと思っています。

本日の客話拝聴を楽しみにしていました。中村先生、後程よろしく願います。

幹事報告

会員数62名 10月レート：1ドル

・本日臨時役員会

9/30 早明浦ダム下草刈り台風の為中止

10/8 ソバハニ TV出演 BSジャパン7 21:00~21:55

・来週例会日時変更

10月12（金）18:30~20:30 栗林公園内栗林カフェ

10/26~28 地区大会 新居浜

10/28 高松クリンデー（サンポート高松）

・富山南RC創立55周年記念例会の案内

日時：11月16日（金）18:00~

場所：富山市富山電気ビル

登録料：10,000円 記念例会で友好クラブ更新締結

委員会報告

出席委員会（秋山委員長）

10月は月間100%出席デー協力をお願いします

ロータリー財団（岡委員長）

豊田会員多額寄付のお礼

客 話

香川大学大学院地域マネジメント研究科 中村正伸准教授



「まちづくり 企業づくり MBAで学ぼう」

香川大学大学院地域マネジメント研究科（地マネ）は、2004年にいわゆる社会人大学院として誕生しました。「地域活性化のリーダー育成」を目的に、民間企業や行政機関の方々のみならず、経営者、あるいは地域プロデューサーの方々と、日夜勉学に励んでおります。いわゆるビジネススクールにある典型的な科目はもちろんのこと、地域・公共を切り口にした科目を多く揃えており、学生の皆様の問題意識に応えるためのカリキュラムを用意しております。勉学も単なる座学に留まらず、地域活性化のための先進的な取り組みの現場にも合宿でお邪魔しています。18年度は徳島県神山町、前年は同じく上勝町に参りました。学生の年齢層も幅広く、70代の経営者の方から20代の若者が机を並べています。最近特に医療機関の方や、女性の経営者・管理職の方が目立ってきています。働き方改革の中で効率性向上に地マネを活用しようとされている方も増えています。今後も学生の皆様と「地域活性化」を念頭に、励んでいく所存です。

ニコニコ箱

岡（隆）会員「結婚祝いありがとうございます。まだまだアツアツです（笑）」

三宅会員「結婚記念の花、有難うございます。」

吉田会員「誕生日のお礼。」

高島会員「誕生日プレゼントありがとうございました。」

宮脇会員「結婚記念日の花束ありがとうございます。お先に失礼します」

堀川会員「誕生日の祝ありがとうございます。」

中村（徹）会員「お先に失礼いたします。」

新地会員「お先に失礼します。」

計¥15,000 合計¥169,000

会員掲示板

●メークアップ

田村会員、今城会員、秋山会員、豊田PDG、吉田会員、篠田会長

ロータリーソング

「国歌」「パースデーソング」「四季のうた」
ソングリーダー 平井会員

2018-19年度

10月12日 第14回

日時／平成30年10月12日（金）18:30~

場所／ガーデンカフェ栗林

会長挨拶

会 長 篠田日出海

寒かったり暑かったりのここ2~3日ですが、皆さん体調は如何ですか。

今日の例会は、日時と会場を変更して香川県出身の偉人・人間国宝 鎌倉芳太郎生誕120年記念例会と言う事で、同じく香川県の偉人 西嶋八兵衛がここ栗林公園の庭園造園に深く関わった場所で例会を行うことになりました。皆さんにチラシをお配りしていますが、明日の明治150年関連企画の「鎌倉芳太郎シンポジウム」で来県された、先程ご紹介しました沖縄県立芸術大学名誉教授波照間永吉先生に本日の客話をいただくことにしております。このシンポジウムを主催される鎌倉芳太郎顕彰会は、佃昌道会員が会長をされており、その事務局の菅原さんにもお出でいただいております。この客話で、会員の皆さんが鎌倉氏の偉業についての認識を益々深められることを期待しています。

また、本日の例会では後半に、この半年間に入会された新会員皆さんの歓迎会を行います。会員間の懇親を深めると同時に、波照間先生、菅原さんを交えて、いろいろな情報交換が行われることを期待しています。

来年1月26日（土）~28日（月）の3日間、この鎌倉芳太郎を縁に友好クラブ協定を締結した那覇南ロータリークラブを訪問する計画を、現在策定中であります。近日中にご案内致します。

それでは、昨日、ここ栗林公園内にイノシシが出没したと新聞が報じている市の中心に在りながら、自然いっぱい栗林公園での例会を満喫致しましょう。

幹事報告

10/17 新会員入会式 楠木泰二郎 琴平バス株式会社

10/26~28 地区大会 新居浜

10/28 高松クリンデー（サンポート高松）



「鎌倉芳太郎生誕120周年顕彰」

10月12日の夜、心地良い夜風が秋の深まりを感じさせる中、栗林公園内商工奨励館西館にて、鎌倉芳太郎生誕120年顕彰例会が開催されました。

例 会

当日は沖縄県立芸術大学名誉教授の波照間永吉様に貴重なお時間を割いてお越し頂き、客話を頂きました。故・鎌倉芳太郎氏の生前沖縄文化に対する研究の成果やその一例につき、30分程度の短い時間の中で貴重なお話を拝聴させて頂きました。鎌倉氏が沖縄文化に対しどれだけの情熱と熱意を持ち、緻密な研究をどれだけ重ねられていたかを窺い知ることができました。



その後は引き続き新会員歓迎例会が開催され、今年4月以降に当クラブにご入会された中村厳友会員・石井孝典会員・新地良洋会員にご挨拶頂きました。その後歓談のち、最後は恒例の「手に手つないで」を全員が合唱し、閉会の運びとなりました。

ご参加頂いた会員の皆様、また楽しいひと時をご準備頂きました親睦委員会の皆様、お疲れ様でした。

会員掲示板

●メイクアップ

森(恒)会員、森(敬)会員、前田会員、詫間会員、堀川会員、SOBHANI会員

●ビジター

香川さま(高松東RC)

ロータリーソング

「我等の生業」
ソングリーダー
合田会員

2018-19年度 10月17日 第15回

日時／平成30年10月17日(水) 12:30～

場所／JRホテルクレメント高松

会長挨拶 会長 篠田日出海

先週の例会は、鎌倉芳太郎生誕120年記念と新会員歓迎を兼ねて、夜間に栗林公園内の栗林カフェで行いました。いつもと異なる趣向でしたが、如何でしたか。

今日は、今月のロータリー月間のもう一つ「米山奨学月間」に相応しい客話を、元米山奨学生のブイー・マン・クォンさんをお願いすることになっています。

この米山記念奨学会については、皆さんご存知のことと思いますが、昭和27年に始まり、財団法人として正式に発足したのは昭和42年で、昨年、財団設立50周年を迎えました。日本のロータリーが運営する、日本で学ぶ外国人留学生を支援する奨学財団です。現在の年間奨学生は約780人で事業費13億円、財団設立以来の累計奨学生は約2万人を数えています。この奨学会の目的は、「将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学すること」と設定しています。

また、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブの世話クラブとロータリアンのカウンセラー制度により、心の通った支援を合わせて行うことが要求されています。先日行われた香川第Ⅰ・第Ⅱ分区分米山協議会での資料によりますと、両分区分のロータリークラブで世話した奨学生は、1974年～2019年で累計146名、当高松南RCは8名の世話をしています。最大12名の世話をしたクラブもありますが、1クラブ当たり平均8.1人のお世話をしたことになります。

この米山奨学会は国際奨学団体としては、事業規模・採用数とも、日本国内では民間最大の組織で、在日外国人留学生から大変期待されています。民間団体ですので奨学金の財源はロータリアンからの寄付が原資です。今日は、米山奨学月間に因んで皆さんからの特別寄付が寄せられることを期待して、ご挨拶を終わらせて戴きます。よろしくお願いします。

幹事報告

林哲也会員退会

10/26～28 地区大会 新居浜

10/28 高松クリーンデー (サンポート高松)

10/31 新会員入会式

12/7 高松大学 高松短期大学 就職指導懇談会

委員会報告

社会奉仕委員会(宮本副委員長)

高松クリーンデー シーフロントフロムナードに集合

林会員 秋元雄氏講演の案内

「直島がアートの聖地になるまで」

新会員入会

楠木泰二郎会員



客 話

元米山留学生 百十四銀行 本店 営業部外為担当 Bui Manh Cuong 様

「元米山奨学生として」



百十四銀行ベトナム人のブイー・マン・クォンです。日本に来て11年目です。技能実習生の3年間と大学の4年間を経て今の仕事に就きました。ロータリー米山奨学生になったのは2013

年から2015年までの2年間でした。他の奨学金と違ってロータリー米山奨学金は経済的な支援だけでなく、カウンセラーという素晴らしい制度があり、奨学生の悩み等も聞いていただいたりしてメンタルケアも充実しています。また月に一回の例会に参加することで、ロータリーの理念を深め、社会貢献や世界の平和のために力を注いでいる皆さんの姿を見てとても素晴らしいと思い、感銘を受けました。皆さんは私の目標であり、将来、皆さんのような素晴らしい人になりたいと考えるようになりました。

ロータリアンの皆様のご支援のおかげで、本当に充実した学生生活を送ることができました。心から感謝しています。これからも香川県で、ロータリーの奉仕精神を忘れず、頑張っていきますので宜しくお願い致します。

ニコニコ箱

前田会員「豊田さん多額の米山寄付ありがとうございました。また、岡隆夫さん米山寄付ありがとうございました。ちなみに私も今日も超多額にさせて頂きました。会員のみな様も今後米山寄付金をよろしくお願いします。」

藤田会員「先日はガーデンカフェ栗林をご利用いただきありがとうございました。田中会員、上村会員には連日お世話になりました。また本日より、楠木社長ご入会。よろしくお願いします。」

林(幸)会員「結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。まだまだこれからです！PRさせていただいた講演会、アートの方を知る機会として下さい。よろしくお願いします。」

楠木会員「入会させていただきました。よろしくお願いいたします。」

堀(一)会員「結婚祝花束ありがとうございました。またカエルまんじゅう持ってきます。」

計¥16,000 合計¥185,000

会員掲示板

●メイクアップ

合田会員、森(恒)会員、豊田会員、中村(厳)会員、岡林会員、松本会員、堀川会員、田中(理)会員、岡(隆)会員、小野会員、田村会員、松木会員、森(敬)会員、宮本会員

●ビジター

松村さま(高松RC)、香川さま(高松東RC)

ロータリーソング

「奉仕の理想」
ソングリーダー
中村(厳)会員

2018年11月例会予定 ロータリー財団月間

No.	日	時間	場所	例会プログラムおよびその他	講演者
18	7	12:30～	JRホテルクレメント高松	臨時総会（指名委員会承認） 充分スピーチ 高島会長エレクト ベートーベン第九お稽古	
19	14	12:30～	JRホテルクレメント高松	新入会員卓話	楠木 泰二郎会員
20	21	12:30～	JRホテルクレメント高松	客話 「香川のインバウンドの現状と取組みについて」	香川県国際観光推進室 藪根 正浩氏
21	28	12:30～	JRホテルクレメント高松	客話 「祖国について（仮題）」	南米留学生（予定）

2018年12月例会予定 疾病予防と治療月間

No.	日	時間	場所	例会プログラムおよびその他	講演者
22	5	12:30～	JRホテルクレメント高松	クラブ年次総会（定款第8条） 充分スピーチ「名簿と体力は一番」	秋山 俊二会員

11月の誕生者
～おめでとうございます～

渡辺 成剛（8日）

9月出席率

例会日	正会員	出席免除	免除出席	出席数	欠席数	補填数	補正出席数	出席率
9月累計	252	56	29	161	52	12	173	76.88 %

編集後記

小惑星「リュウグウ」に到達した探査機「はやぶさ2」が地表に投下し、大活躍しているのが「ミネルバ」と名付けられたロボットです。数十億年もの時空をぬけ、生命の起源に挑戦しています。ミネルバときけば、「ミネルバのフクロウは夕暮れに初めて飛び始める」というヘーゲルの哲学概要に出てくる有名な言葉を思い出します。ヘーゲル哲学というと、ドイツ人特有の粘着質的な倫理で、訳の分からない茫漠たる精神の世界に引き込まれてしまうところがあります。ここで言うミネルバのフクロウとは、知性を司る女神「ミネルバ」が正義（＝法）と考えるものを基準にフクロウに集めさせて来ることを意味しています。編集子の浅学非才な理解で言うと、自分の気に入った話だけをかき集めてくるということです。夕暮れ時になると人々は様々な失敗経験を重ねることで、少し

賢くなっていきます。その知恵をフクロウに集めさせるのが知恵の神「ミネルバ」の役目でした。しかし、ミネルバ（＝ヘーゲル）の頭の中には「世の中はこうあるべき」という明確な正義の概念があり、それに沿ってないものは「正義＝法」に則っていないと考えています。これを後にマルクスとエンゲルスは批判しました。しかし、そのマルクスやエンゲルスが打ち立てた「空想より科学へ」の科学的社会主義の理論は破綻し、崩壊し、法の正義はさまよっています。そんな世にあって、法と倫理と道徳との狭間をつなぎあわすのが我がロータリーの奉仕のところです。「奉仕に集える我等は望む 正しき道に果をとるを 人の世挙りて光を浴みつ 力を協せて争忌むを おゝロータリアン 我等の集い」（我等の生業2番 1935年）ロータリソングに沿ったマンスリーレポート11月号ご高覧ください。

（編集子）